

【 目 次 】

1. 損益状況	【連結】	【単体】	…	1
2. ROE	【連結】		…	3
3. 自己資本比率（国内基準）	【連結】	【単体】	…	3
4. 業務純益		【単体】	…	4
5. 利鞘		【単体】	…	4
6. 有価証券関係損益		【単体】	…	5
7. 有価証券評価損益	【連結】	【単体】	…	5
8. 貸出金の残高		【単体】	…	6
9. リスク管理債権	【連結】	【単体】	…	6
10. 貸倒引当金	【連結】	【単体】	…	7
11. 金融再生法開示債権		【単体】	…	7
12. 金融再生法開示債権の保全状況		【単体】	…	7
13. 業種別貸出状況等		【単体】	…	9
14. 預金等の残高		【単体】	…	10
15. 総預り資産残高	【連結】		…	10
（参考）広島銀行の中間財務諸表		【単体】	…	11

※【連結】は、ひろぎんホールディングスの連結計数を表示しております。

【単体】は、広島銀行の単体計数を表示しております。

未来を、ひろげる。

1. 損益状況

【ひろぎんホールディングス 連結】

(単位:百万円)

		2022年3月期 第2四半期	前年同期比	2021年3月期 第2四半期 (広島銀行連結)
連結粗利益	1	47,790	1,597	46,193
資金利益	2	33,812	641	33,171
役務取引等利益	3	10,539	1,687	8,852
特定取引利益	4	2,273	535	1,738
その他業務利益	5	1,164	△ 1,265	2,429
営業経費	(△) 6	29,693	1,475	28,218
与信費用	(△) 7	5,039	667	4,372
貸出金償却	(△) 8	941	△ 477	1,418
個別貸倒引当金繰入額	(△) 9	3,832	2,393	1,439
一般貸倒引当金繰入額	(△) 10	243	△ 1,127	1,370
貸出債権売却損等	(△) 11	22	△ 121	143
償却債権取立益等	12	0	0	0
株式等関係損益	13	3,410	1,959	1,451
持分法による投資損益	14	-	△ 98	98
その他	15	237	△ 123	360
経常利益	1-6-7+13+14+15	16,705	1,194	15,511
特別損益	17	△ 663	△ 595	△ 68
税金等調整前中間純利益	18	16,041	599	15,442
法人税、住民税及び事業税	(△) 19	4,547	223	4,324
法人税等調整額	(△) 20	347	△ 132	479
法人税等合計	(△) 21	4,894	90	4,804
中間純利益	22	11,147	509	10,638
非支配株主に帰属する中間純利益	(△) 23	11	11	-
親会社株主に帰属する中間純利益	24	11,135	497	10,638

(注) 1. 当社は、2020年10月1日設立のため、2021年3月期第2四半期(及び2020年9月末)の連結計数はありませんが、参考として広島銀行を親会社とする旧組織の2021年3月期第2四半期(または2020年9月末)の連結計数と比較しております。(以下同じ)

2. 「連結粗利益」は、(資金運用収益－資金調達費用)＋(役務取引等収益－役務取引等費用＋信託報酬)＋(特定取引収益－特定取引費用)＋(その他業務収益－その他業務費用)で算出しております。

(参考:連結対象会社数)

(単位:社)

	2021年9月末
連結子会社数	12
持分法適用会社数	-

【広島銀行 単体】

(単位:百万円)

		2022年3月期 第2四半期		前年同期比	2021年3月期 第2四半期
業務粗利益	1	42,671	△ 3,152		45,823
(うちコア業務粗利益	1-7)	(43,322)	(△851)		(44,173)
資金利益	3	35,045	△ 1,653		36,698
役務取引等利益	4	7,288	927		6,361
特定取引利益	5	301	△ 46		347
その他業務利益	6	35	△ 2,380		2,415
(うち国債等債券関係損益)	7	(△651)	(△2,300)		(1,649)
経費(除く臨時処理分)	(△) 8	27,387	1,343		26,044
人件費	(△) 9	12,369	△ 845		13,214
物件費	(△) 10	13,053	1,957		11,096
税金	(△) 11	1,964	231		1,733
実質業務純益	1-8	15,283	△ 4,495		19,778
(コア業務純益	2-8)	(15,934)	(△2,195)		(18,129)
(コア業務純益(除く投資信託解約損益))	14	(15,934)	(△2,195)		(18,129)
一般貸倒引当金繰入額	(△) 15	228	△ 1,152		1,380
業務純益	12-15	15,054	△ 3,344		18,398
臨時損益	18-19+24	△ 93	613		△ 706
株式等関係損益	18	3,366	1,915		1,451
不良債権処理額	(△) 19	4,689	1,763		2,926
貸出金償却	(△) 20	941	△ 477		1,418
個別貸倒引当金繰入額	(△) 21	3,726	2,360		1,366
貸出債権売却損等	(△) 22	21	△ 119		140
償却債権取立益等	23	0	0		0
その他臨時損益	24	1,229	460		769
経常利益	16+17	14,961	△ 2,731		17,692
特別損益	26	△ 634	△ 563		△ 71
うち固定資産関係損益	27	△ 634	△ 563		△ 71
固定資産処分益	28	0	△ 13		13
固定資産処分損	(△) 29	95	48		47
減損損失	(△) 30	539	502		37
税引前中間純利益	31	14,327	△ 3,294		17,621
法人税、住民税及び事業税	(△) 32	3,520	△ 368		3,888
法人税等調整額	(△) 33	330	△ 443		773
法人税等合計	32+33 (△) 34	3,851	△ 811		4,662
中間純利益	35	10,475	△ 2,483		12,958
与信費用	15+19 (△) 36	4,918	612		4,306

2. ROE【ひろぎんホールディングス 連結】

(単位:%)

	2022年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期 (広島銀行連結)	
		前年同期比	
親会社株主に帰属する中間純利益ベース	4.27	△ 0.04	4.31

3. 自己資本比率 (国内基準)

信用リスク・アセットの算出においては基礎的内部格付手法を、オペレーショナル・リスク相当額の算出においては粗利益配分手法を採用しております。

自己資本の構成については、当社ホームページ(<https://www.hirogin-hd.co.jp/>)をご覧ください。

【ひろぎんホールディングス 連結】

(単位:億円)

	2021年9月末	2021年3月末	
		2021年3月末比	
(1) コア資本に係る基礎項目の額	4,877	72	4,805
(2) コア資本に係る調整項目の額	745	23	722
(3) 自己資本の額 (1)-(2)	4,132	50	4,082
(4) リスク・アセット等の額の合計額	38,827	323	38,504
(5) 自己資本比率 (3)÷(4)	10.64%	0.04%	10.60%

【広島銀行 単体】

(単位:億円)

	2021年9月末	2021年3月末	
		2021年3月末比	
(1) コア資本に係る基礎項目の額	4,453	104	4,349
(2) コア資本に係る調整項目の額	587	29	558
(3) 自己資本の額 (1)-(2)	3,865	75	3,790
(4) リスク・アセット等の額の合計額	38,544	207	38,337
(5) 自己資本比率 (3)÷(4)	10.02%	0.14%	9.88%

4. 業務純益【広島銀行 単体】

(単位:百万円)

	2022年3月期 第2四半期	前年同期比	2021年3月期 第2四半期
(1) コア業務純益	15,934	△ 2,195	18,129
職員一人当たり(千円)	5,084	△ 537	5,621
(2) 実質業務純益	15,283	△ 4,495	19,778
職員一人当たり(千円)	4,876	△ 1,256	6,132
(3) 業務純益	15,054	△ 3,344	18,398
職員一人当たり(千円)	4,803	△ 901	5,704

5. 利鞘【広島銀行 単体】

(全店)

(単位:%)

	2022年3月期 第2四半期	前年同期比	2021年3月期 第2四半期
(1) 資金運用利回(A)	0.86	△ 0.11	0.97
貸出金利回	0.84	△ 0.04	0.88
有価証券利回	0.90	△ 0.56	1.46
(2) 資金調達原価(B)	0.54	△ 0.05	0.59
預金等利回	0.01	0.00	0.01
(3) 預貸金利鞘	0.22	△ 0.01	0.23
(4) 総資金利鞘(A)-(B)	0.32	△ 0.06	0.38

(注)預金等利回は、譲渡性預金を含んでいます。

(国内業務部門)

(単位:%)

	2022年3月期 第2四半期	前年同期比	2021年3月期 第2四半期
(1) 資金運用利回(A)	0.79	△ 0.08	0.87
貸出金利回	0.81	△ 0.03	0.84
有価証券利回	0.99	△ 0.50	1.49
(2) 資金調達原価(B)	0.53	△ 0.05	0.58
預金等利回	0.00	△ 0.01	0.01
(3) 預貸金利鞘	0.20	0.00	0.20
(4) 総資金利鞘(A)-(B)	0.26	△ 0.03	0.29

(注)預金等利回は、譲渡性預金を含んでいます。

6. 有価証券関係損益【広島銀行 単体】

(単位:百万円)

	2022年3月期 第2四半期		2021年3月期 第2四半期
		前年同期比	
国債等債券関係損益	△ 651	△ 2,300	1,649
売却益	1,244	△ 791	2,035
売却損 (△)	1,895	1,509	386
償却 (△)	-	-	-
株式等関係損益	3,366	1,915	1,451
売却益	3,566	1,581	1,985
売却損 (△)	154	137	17
償却 (△)	45	△ 471	516

7. 有価証券評価損益

【ひろぎんホールディングス 連結】

(単位:億円)

	2021年9月末				2021年3月末		
	評価損益				評価損益	評価益	評価損
		2021年3月末比	評価益	評価損			
満期保有目的	-	-	-	-	-	-	-
その他有価証券	396	9	549	153	387	571	184
株式	385	△ 46	439	54	431	466	34
債券	20	19	46	25	1	44	42
その他	△ 9	37	63	73	△ 46	61	107
合計	396	9	549	153	387	571	184

【広島銀行 単体】

(単位:億円)

	2021年9月末				2021年3月末		
	評価損益				評価損益	評価益	評価損
		2021年3月末比	評価益	評価損			
満期保有目的	-	-	-	-	-	-	-
その他有価証券	396	10	549	152	386	571	184
株式	385	△ 46	439	54	431	466	34
債券	21	20	46	25	1	44	42
その他	△ 9	37	63	73	△ 46	61	107
合計	396	10	549	152	386	571	184

8. 貸出金の残高【広島銀行 単体】

(1) 貸出金残高の内訳

(単位:億円)

(平 残)	2022年3月期 第2四半期	前年度比		2021年3月期	2021年3月期 第2四半期
			前年同期比		
貸出金残高	67,605	1,606	1,290	65,999	66,315
事業性貸出等	50,936	1,272	853	49,664	50,083
個人ローン	16,668	334	436	16,334	16,232
住宅ローン	10,766	328	420	10,438	10,346
その他ローン	5,902	7	17	5,895	5,885

(単位:億円)

(末 残)	2021年9月末	2021年3月末比		2021年3月末	2020年9月末
		2021年3月末比	2020年9月末比		
貸出金残高	68,240	2,832	2,337	65,408	65,903
事業性貸出等	51,484	2,670	1,916	48,814	49,568
個人ローン	16,756	162	421	16,594	16,335
住宅ローン	10,847	168	418	10,679	10,429
その他ローン	5,909	△ 5	4	5,914	5,905

(2) 中小企業等貸出

(単位:億円)

	2021年9月末	2021年3月末比		2021年3月末	2020年9月末
		2021年3月末比	2020年9月末比		
中小企業等貸出残高	43,630	△ 526	271	44,156	43,359
中小企業等貸出比率	63.9%	△ 3.6%	△ 1.9%	67.5%	65.8%

(注) 1. 中小企業等貸出残高は個人ローン残高等を含んでいます。

2. 中小企業等貸出比率の分母となる貸出金は、特別国際金融取引勘定分を除いています。

9. リスク管理債権

・部分直接償却後で記載しています。

【ひろぎんホールディングス 連結】

(単位:百万円)

	2021年9月末	2021年3月末比		2021年3月末	2020年9月末 (広島銀行連結)
		2021年3月末比	2020年9月末比		
リスク管理債権					
破綻先債権	1,107	△ 11	△ 180	1,118	1,287
延滞債権	56,486	△ 3,313	7,449	59,799	49,037
3ヵ月以上延滞債権	3,528	△ 632	△ 1	4,160	3,529
貸出条件緩和債権	36,069	11,513	12,755	24,556	23,314
合計	97,192	7,558	20,022	89,634	77,170

【広島銀行 単体】

(単位:百万円)

	2021年9月末	2021年3月末比		2021年3月末	2020年9月末
		2021年3月末比	2020年9月末比		
リスク管理債権					
破綻先債権	1,080	△ 3	△ 176	1,083	1,256
延滞債権	56,486	△ 3,313	7,449	59,799	49,037
3ヵ月以上延滞債権	3,528	△ 632	△ 1	4,160	3,529
貸出条件緩和債権	36,069	11,513	12,755	24,556	23,314
合計	97,165	7,566	20,026	89,599	77,139

10. 貸倒引当金

【ひろぎんホールディングス 連結】

(単位:百万円)

	2021年9月末			2021年3月末	2020年9月末 (広島銀行連結)
	2021年9月末	2021年3月末比	2020年9月末比		
貸倒引当金	44,206	3,134	8,864	41,072	35,342
一般貸倒引当金	18,262	243	52	18,019	18,210
個別貸倒引当金	25,944	2,892	8,812	23,052	17,132
特定海外債権引当勘定	-	-	-	-	-

【広島銀行 単体】

(単位:百万円)

	2021年9月末			2021年3月末	2020年9月末
	2021年9月末	2021年3月末比	2020年9月末比		
貸倒引当金	41,988	3,107	8,442	38,881	33,546
一般貸倒引当金	17,853	229	96	17,624	17,757
個別貸倒引当金	24,135	2,879	8,347	21,256	15,788
特定海外債権引当勘定	-	-	-	-	-

11. 金融再生法開示債権【広島銀行 単体】

(単位:百万円)

	2021年9月末			2021年3月末	2020年9月末
	2021年9月末	2021年3月末比	2020年9月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,673	△ 272	△ 527	5,945	6,200
危険債権	52,282	△ 2,968	6,635	55,250	45,647
要管理債権	39,598	10,882	12,754	28,716	26,844
合計 (A)	97,554	7,641	18,862	89,913	78,692

12. 金融再生法開示債権の保全状況【広島銀行 単体】

(単位:百万円)

	2021年9月末			2021年3月末	2020年9月末
	2021年9月末	2021年3月末比	2020年9月末比		
カバー額 (B)	70,469	6,957	17,610	63,512	52,859
貸倒引当金 (C)	32,645	6,797	12,620	25,848	20,025
担保保証等による保全部分	37,823	160	4,990	37,663	32,833
特定債務者引当金	-	-	-	-	-
開示債権額に対するカバー率 (B) / (A)	72.2%	1.6%	5.1%	70.6%	67.1%
(参考: 部分直接償却前のカバー率)	76.7%	1.1%	3.6%	75.6%	73.1%
担保保証等による保全のない部分 (D)	59,730	7,481	13,872	52,249	45,858
引当率 (C) / (D)	54.7%	5.3%	11.1%	49.4%	43.6%
不良債権比率	1.41%	0.05%	0.23%	1.36%	1.18%

《参考》自己査定・金融再生法開示債権・リスク管理債権との関係【広島銀行 単体】

(単位：百万円)

自己査定の債務者区分および分類額					金融再生法開示債権					リスク管理債権	
債務者区分	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類	区分 与信残高 97,554	保全額		カバー率	引当率	97,165	
						担保等による保全額	引当額				
破綻先 1,086	168	917	— (—)	— (—)	破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権 5,673	5,627	45	100%	100%	破綻先債権 (貸出金) 1,080 (貸出金以外) 6	
実質破綻先 4,586	1,229	3,357	— (45)	— (—)						延滞債権 (貸出金) 56,486 (貸出金以外) 382	
破綻懸念先 52,282	38,956	8,316	5,009 (23,997)	— (—)	危険債権 52,282	23,275	23,997	90.4%	82.7%		
要管理先 52,003	3,325	48,677	—	—	要管理債権 39,598	8,920	8,602	44.3%	28.0%	貸出条件 緩和債権 3ヵ月以上 延滞債権 36,069 3,528	
要注意先 544,214	103,026	441,188	—	—	正常債権 6,808,405						
正常先 6,303,788	6,303,788	—	—	—							
合計 6,905,959	6,447,170	453,779	5,009	—	合計 6,905,959						

(注) 「自己査定の債務者区分および分類額」における () 内は分類額に対する個別貸倒引当金の引当額です。

13. 業種別貸出状況等【広島銀行 単体】

(1) 業種別貸出金

(単位:百万円)

	2021年9月末			2021年3月末	2020年9月末
	2021年9月末	2021年3月末比	2020年9月末比		
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	6,824,098	283,218	233,715	6,540,880	6,590,383
製造業	722,232	△ 18,432	△ 47,348	740,664	769,580
農業・林業	6,423	△ 36	△ 63	6,459	6,486
漁業	1,259	38	△ 73	1,221	1,332
鉱業・採石業・砂利採取業	3,372	△ 418	△ 557	3,790	3,929
建設業	163,054	△ 11,749	△ 11,531	174,803	174,585
電気・ガス・熱供給・水道業	226,385	4,506	△ 334	221,879	226,719
情報通信業	17,847	△ 4,024	△ 5,576	21,871	23,423
運輸業・郵便業	379,126	31,147	32,322	347,979	346,804
卸売業・小売業	544,961	△ 4,607	△ 13,271	549,568	558,232
金融業・保険業	229,848	△ 5,144	△ 22,393	234,992	252,241
不動産業・物品賃貸業	1,137,044	△ 4,715	51,318	1,141,759	1,085,726
各種サービス業	436,170	△ 6,932	△ 4,682	443,102	440,852
地方公共団体	1,323,882	318,884	249,674	1,004,998	1,074,208
その他 (注)	1,632,484	△ 15,298	6,231	1,647,782	1,626,253

(注)その他には、以下の貸出金を含んでおります。

(単位:百万円)

	2021年9月末			2021年3月末	2020年9月末
	2021年9月末	2021年3月末比	2020年9月末比		
個人向け	1,220,442	11,826	35,395	1,208,616	1,185,047
船舶貸渡業(非居住者)	369,137	△ 20,209	△ 23,819	389,346	392,956

・船舶貸渡業(非居住者)とは国内船舶貸渡業者の海外子会社等です。

・船舶貸渡業(国内及び非居住者)や造船業等を含む船舶関連貸出金の2021年9月末残高は710,208百万円(2021年3月末比△7,737百万円、2020年9月末比△6,519百万円)です。

(2) 業種別リスク管理債権

(単位:百万円)

	2021年9月末			2021年3月末	2020年9月末
	2021年9月末	2021年3月末比	2020年9月末比		
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	97,165	7,566	20,026	89,599	77,139
製造業	20,905	922	3,012	19,983	17,893
農業・林業	821	42	165	779	656
漁業	4	0	0	4	4
鉱業・採石業・砂利採取業	24	△ 8	△ 8	32	32
建設業	4,429	△ 71	△ 183	4,500	4,612
電気・ガス・熱供給・水道業	2,530	△ 423	△ 579	2,953	3,109
情報通信業	398	△ 62	△ 17	460	415
運輸業・郵便業	1,933	980	1,043	953	890
卸売業・小売業	13,178	176	625	13,002	12,553
金融業・保険業	795	0	△ 3	795	798
不動産業・物品賃貸業	16,867	2,777	7,384	14,090	9,483
各種サービス業	25,589	4,951	10,955	20,638	14,634
地方公共団体	-	-	-	-	-
その他	9,685	△ 1,719	△ 2,368	11,404	12,053

14. 預金等の残高【広島銀行 単体】

○預金等残高の内訳

(単位:億円)

(平 残)	2022年3月期 第2四半期			2021年3月期 第2四半期
		前年度比	前年同期比	
預金等残高	88,408	5,464	6,842	82,944
法人預金	27,467	1,995	2,724	25,472
個人預金	55,385	2,754	3,723	52,631
公金・金融預金	5,554	714	395	4,840

(注)預金等は、譲渡性預金を含んでいます。

(単位:億円)

(末 残)	2021年9月末			2021年3月末	2020年9月末
		2021年3月末比	2020年9月末比		
預金等残高	88,119	1,123	4,882	86,996	83,237
法人預金	26,967	△ 538	1,238	27,505	25,729
個人預金	55,838	1,353	3,369	54,485	52,469
公金・金融預金	5,313	308	275	5,005	5,038

(注)預金等は、譲渡性預金を含んでいます。

15. 総預り資産残高【広島銀行+ひろぎん証券】

(単位:億円)

	2021年9月末			2021年3月末	2020年9月末
		2021年3月末比	2020年9月末比		
総預り資産残高	103,658	1,006	4,853	102,652	98,805
広島銀行	98,964	1,039	4,477	97,925	94,487
預金等	88,119	1,123	4,882	86,996	83,237
非預金商品	10,845	△ 84	△ 405	10,929	11,250
投資信託	1,631	△ 99	△ 260	1,730	1,891
公共債	1,528	△ 171	△ 407	1,699	1,935
年金保険	3,910	△ 133	△ 335	4,043	4,245
金融商品仲介	3,423	308	539	3,115	2,884
その他	352	13	60	339	292
ひろぎん証券 (除く金融商品仲介)	4,693	△ 33	376	4,726	4,317
非預金商品合計	15,538	△ 117	△ 30	15,655	15,568

(注)1.ひろぎん証券の残高は、時価ベースです。

2.「ひろぎんアプリ」を通じた金融商品仲介(楽天証券・SBI証券)は含んでおりません。

(参考) 広島銀行単体 中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当中間会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
現金預け金	2,579,575	2,485,622
コールローン	942	900
買入金銭債権	6,133	5,945
特定取引資産	6,501	6,202
金銭の信託	30,127	30,518
有価証券	1,486,384	1,601,200
貸出金	6,540,880	6,824,098
外国為替	15,463	12,620
その他資産	107,467	103,497
有形固定資産	108,515	109,383
無形固定資産	8,427	8,030
前払年金費用	59,272	62,937
支払承諾見返	35,207	34,101
貸倒引当金	△38,881	△41,988
資産の部合計	10,946,017	11,243,070
負債の部		
預金	8,368,396	8,360,437
譲渡性預金	331,271	451,486
売現先勘定	255,685	206,011
債券貸借取引受入担保金	382,445	540,557
特定取引負債	3,607	3,361
借入金	1,023,250	1,108,487
外国為替	1,985	866
信託勘定借	47	52
その他負債	58,559	42,435
未払法人税等	4,944	3,088
リース債務	562	523
資産除去債務	342	340
その他の負債	52,710	38,483
睡眠預金払戻損失引当金	1,745	1,482
ポイント引当金	93	150
株式給付引当金	599	643
固定資産解体費用引当金	768	538
繰延税金負債	1,326	1,500
再評価に係る繰延税金負債	13,605	13,536
支払承諾	35,207	34,101
負債の部合計	10,478,596	10,765,648

(単位：百万円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当中間会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
資本金	54,573	54,573
資本剰余金	30,634	30,634
資本準備金	30,634	30,634
利益剰余金	329,081	339,494
利益準備金	40,153	40,153
その他利益剰余金	288,928	299,341
別途積立金	289,604	289,604
繰越利益剰余金	△675	9,737
株主資本合計	414,289	424,702
その他有価証券評価差額金	27,288	28,250
繰延ヘッジ損益	△1,938	△3,179
土地再評価差額金	27,781	27,649
評価・換算差額等合計	53,131	52,719
純資産の部合計	467,420	477,422
負債及び純資産の部合計	10,946,017	11,243,070

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当中間会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
経常収益	55,742	54,946
資金運用収益	38,888	36,782
(うち貸出金利息)	29,537	28,611
(うち有価証券利息配当金)	8,792	6,947
信託報酬	49	91
役務取引等収益	11,282	11,898
特定取引収益	347	301
その他業務収益	2,817	1,931
その他経常収益	2,357	3,940
経常費用	38,050	39,985
資金調達費用	2,190	1,739
(うち預金利息)	691	449
役務取引等費用	4,970	4,702
その他業務費用	401	1,895
営業経費	25,635	26,527
その他経常費用	4,853	5,120
経常利益	17,692	14,961
特別利益	13	0
特別損失	84	634
税引前中間純利益	17,621	14,327
法人税、住民税及び事業税	3,888	3,520
法人税等調整額	773	330
法人税等合計	4,662	3,851
中間純利益	12,958	10,475

2022年3月期第2四半期（中間期） 決算ハイライト

2021年11月8日

未来を、ひろげる。

連結業績サマリー

(億円)

	2021年度 中間期		前年 同期比※ (増減率)
	①	②	
連結粗利益	477	16	(3.5%)
資金利益	338	7	
役務取引等利益	105	17	
特定取引・その他業務利益 (うち国債等債券関係損益)	34 △ 6	△ 7 △ 22	
営業経費 (△)	② 296	14	
与信費用 (△)	③ 50	7	
株式等関係損益	34	20	
持分法による投資損益	-	0	
その他	2	△ 1	
経常利益	167	12	(7.7%)
特別損益	△ 6	△ 6	
法人税等合計 (△)	48	0	
非支配株主に帰属する 中間純利益 (△)	0	0	
親会社株主に帰属する 中間純利益	④ 111	5	(4.7%)

ひろぎん証券、しまなみ債権回収の増益に加え、ひろぎんリースの完全子会社化が大きく寄与し、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比5億円増益の111億円

① 連結粗利益

- 資金利益は、貸出金利息は減少したものの、有価証券利息配当金の増加と外貨調達費用の減少を主因に、前年同期比7億円増加
- 役務取引等利益は、法人ソリューション・アセットマネジメントに係る収益の増加に加え、しまなみ債権回収とひろぎん証券が大きく寄与し、前年同期比17億円増加
- 特定取引・その他業務利益は、国債等債券関係損益は大幅に減少したものの、ひろぎんリースの完全子会社化とひろぎん証券の寄与により、前年同期比7億円の減少に止まる
- これらにより、連結粗利益は、前年同期比16億円増加の477億円

② 営業経費

- 本社ビル関連経費（移転に伴う初期費用を含む）の増加と連結子会社の増加を主因に、前年同期比14億円増加
- 経費率（② ÷ ①）は62.1%（前年同期比+1.0ポイント）

③ 与信費用

- 大口個社要因に加え、一部のお取引先について予防的に引当を積み増したことから、前年同期比7億円増加

④ 親会社株主に帰属する中間純利益

- 2年ぶりの増益となる、前年同期比5億円増益の111億円

※ 当社は、2020年10月1日設立のため、2020年度中間期の連結計数はありませんが、参考として、広島銀行を親会社とする旧組織の2020年度中間期の連結計数と比較しております。（以下同じ）

広島銀行

(億円)

	2021年度 中間期	前年 同期比	(増減率)
業務粗利益	426	△ 32	(△6.9%)
(うちコア業務粗利益)	① 433	△ 8	(△1.9%)
資金利益	350	△ 16	
役務取引等利益	72	9	
特定取引利益	3	0	
その他業務利益	0	△ 24	
(うち国債等債券関係損益)	△ 6	△ 22	
経費 (除く臨時処理分) (△)	② 273	13	
実質業務純益	152	△ 45	(△22.7%)
(コア業務純益)	159	△ 22	(△12.1%)
(コア業務純益 (除く投信解約損益))	159	△ 22	(△12.1%)
与信費用 (△)	③ 49	6	
株式等関係損益	33	19	
その他臨時損益	12	5	
経常利益	149	△ 27	(△15.4%)
特別損益	△ 6	△ 6	
法人税等合計 (△)	38	△ 8	
中間純利益	④ 104	△ 25	(△19.2%)

子会社からの受取配当金の減少影響 (HD連結では減益影響なし) 除きでは実質前年同期並みの、中間純利益104億円

① コア業務粗利益

- 役務取引等利益は増加したものの、子会社からの受取配当金の減少 (△24億円) による資金利益の減少を主因に、前年同期比8億円減少

② 経費(除く臨時処理分)

- 本社ビル関連経費 (移転に伴う初期費用を含む) の増加を主因に、前年同期比13億円増加
- コア業務粗利益ベースの経費率 (コアOHR、② ÷ ①) は63.2% (前年同期比+4.3ポイント)

③ 与信費用

- 大口個社要因に加え、一部のお取引先について予防的に引当を積み増したことから、前年同期比6億円増加

④ 中間純利益

- 前年同期比25億円の減益ながら、子会社からの受取配当金の減少影響 (HD連結では減益影響なし) 除きでは実質前年同期並みの、104億円

広島銀行以外の主要グループ会社

(億円)

	ひろぎん証券		しまなみ債権回収		ひろぎんリース	
	2021年度 中間期	前年 同期比	2021年度 中間期	前年 同期比	2021年度 中間期	前年 同期比
経常利益	10.1	5.7	3.9	3.7	5.9	△ 1.2
中間純利益	6.6	3.7	2.7	2.6	3.9	※ △ 1.0

※ ひろぎんリースの完全子会社化により、親会社株主に帰属する中間純利益への影響は前年同期比+2.9億円

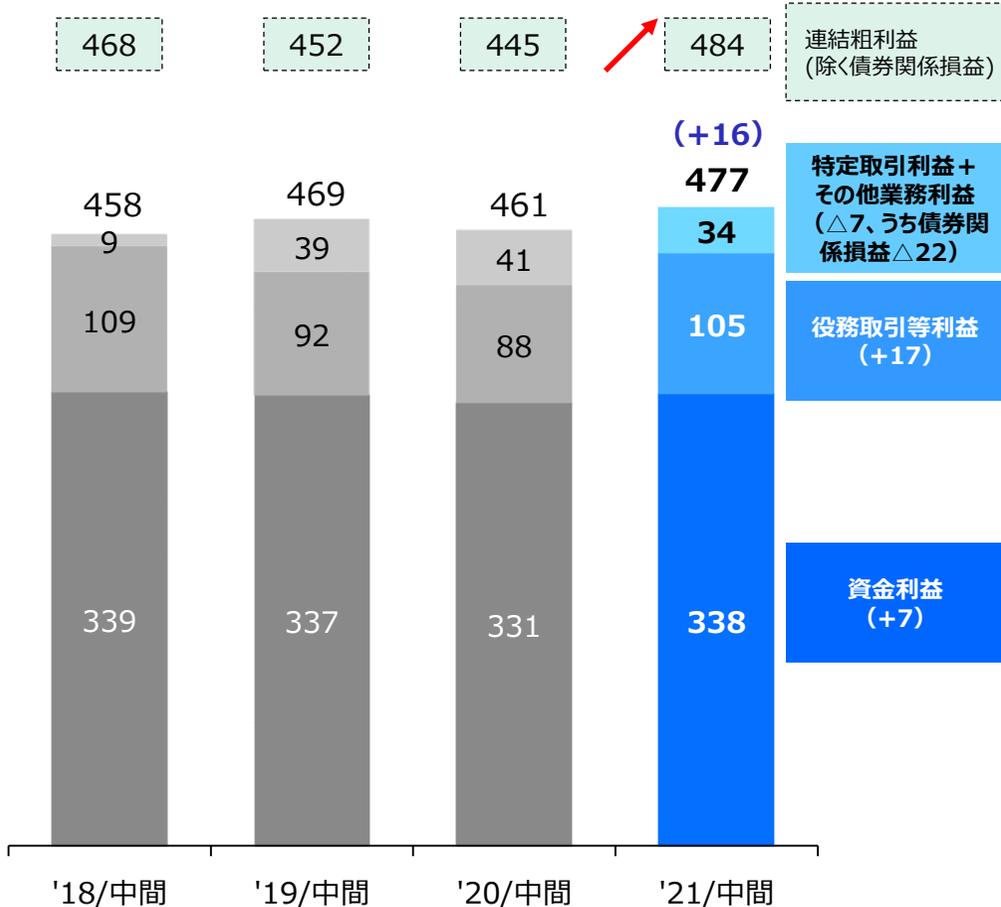
- 連結粗利益は、国債等債券関係損益は大幅に減少（△22億円）したものの、ひろぎん証券、しまなみ債権回収に加え、ひろぎんリースの完全子会社化が大きく寄与し、前年同期比16億円増加の477億円
- 連結粗利益（除く国債等債券関係損益）は、マイナス金利下で減少が続いたが、大幅な増加に反転
- 経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益とも、2年ぶりの増益

連結粗利益

(億円)

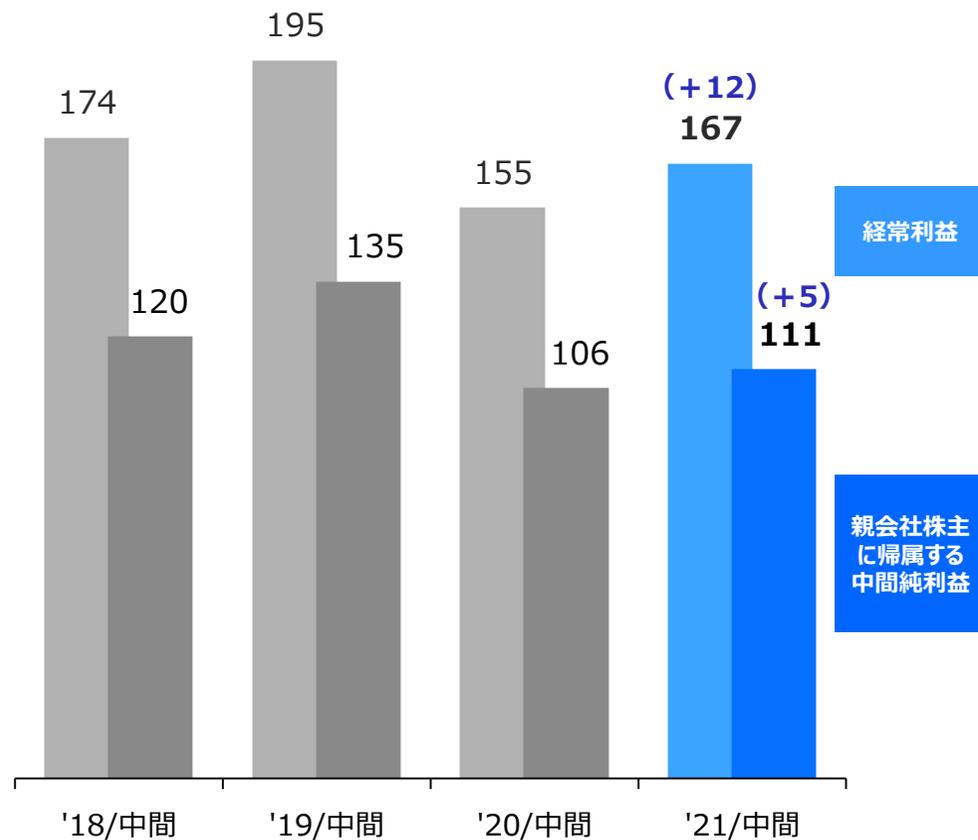
《参考》

連結粗利益
(除く債券関係損益)



経常利益／親会社株主に帰属する中間純利益

(億円)

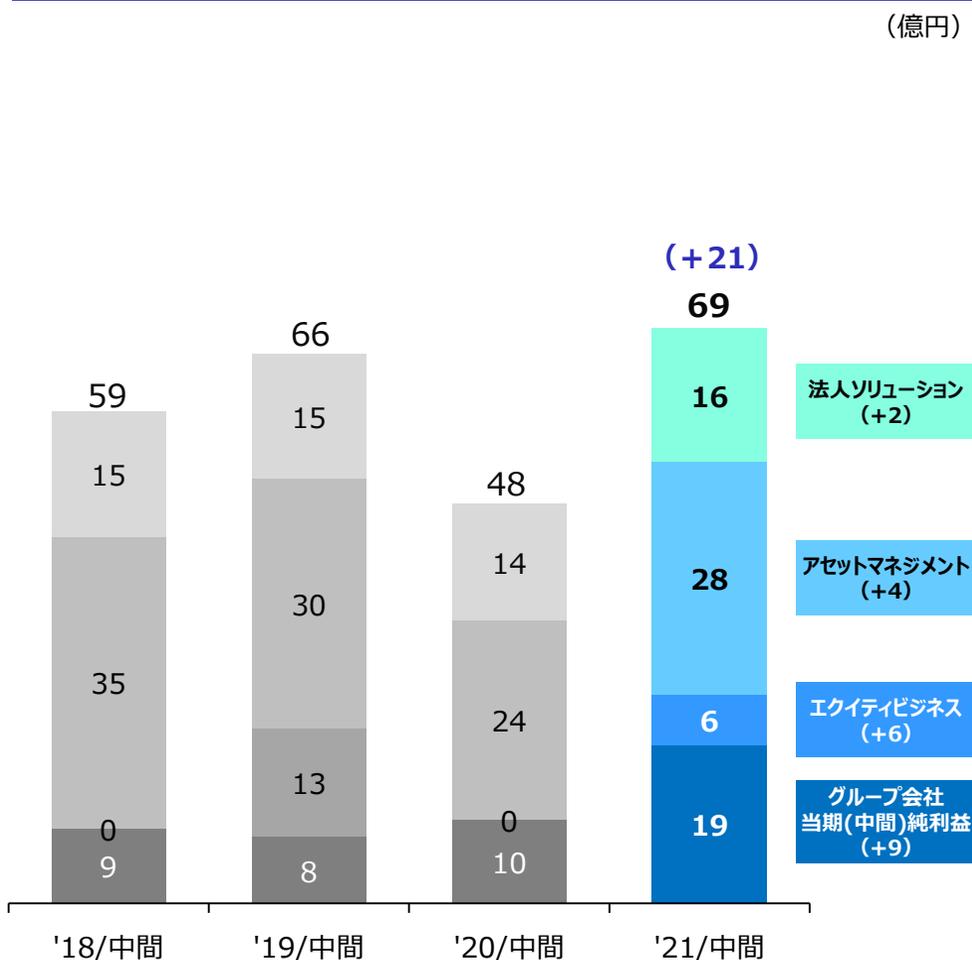


コンサルティング業務に係る収益 および グループ会社当期純利益

HD連結

- 「中期計画2020」において経営目標として掲げ、重点的に取り組んでいる「コンサルティング業務に係る収益およびグループ会社当期純利益」は、前年同期比21億円増加の69億円と順調に推移
- 特に注力している法人ソリューション、金融商品仲介、信託に係る収益は、いずれも前年同期比増加
- グループ会社の中間純利益についても、ひろぎん証券、しまなみ債権回収等の寄与により、前年同期比大幅に増加

法人・個人のお客さまに対するコンサルティング業務に係る収益 および グループ会社当期（中間）純利益 の合計



	【内訳】 (億円)			【参考】 (億円)	
	'20/中間 実績	'21/中間 実績	前年 同期比	'21年度 計画	前年比
【銀行単体】					
法人・個人のお客さまに対する コンサルティング業務に係る収益 ①	38	50	12	114	18
法人ソリューション	14	16	2	43	2
うち事業承継支援・M & A	2	2	0	9	3
アセットマネジメント	24	28	4	61	6
うち投資信託	5	6	1	11	0
うち保険	9	9	0	23	2
うち金融商品仲介	4	5	1	10	0
うち信託	2	3	1	8	2
エクイティビジネス	-	6	6	9	9
グループ会社					
当期（中間）純利益 ②	10	19	9	33	9
うちひろぎん証券	3	7	4	11	1
うちしまなみ債権回収	0	3	3	3	1
うちひろぎんリース ※	1	4	3	7	5
合計（①+②）	48	69	21	147	27

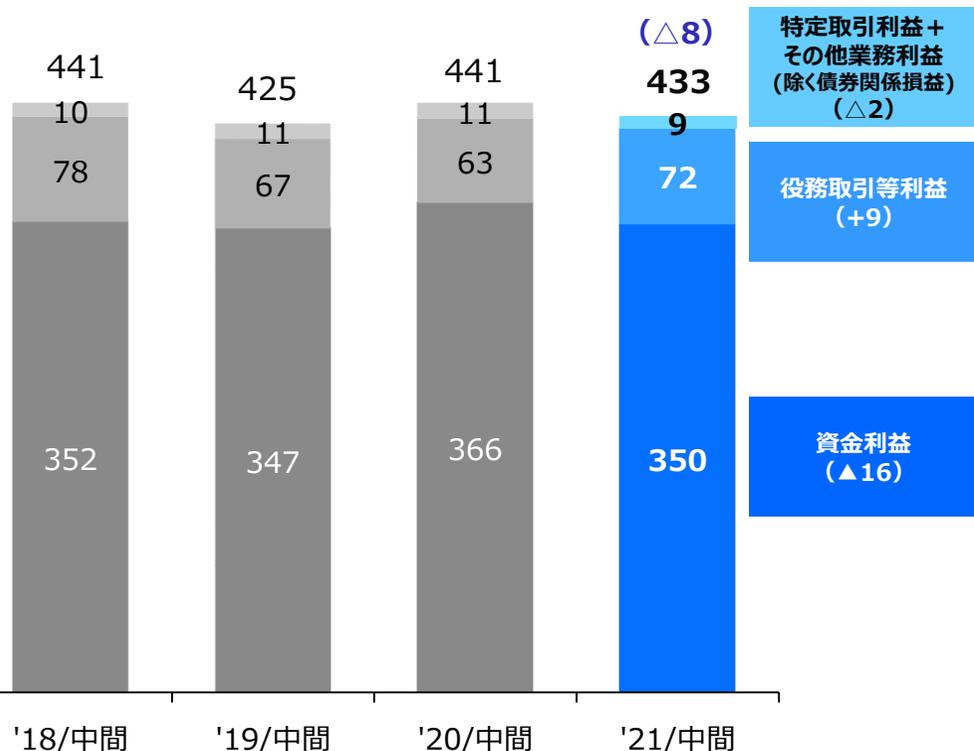
※ ひろぎんリースの'20/中間実績は、完全子会社化前の議決権所有割合（20%）を乗じた額

銀行単体の経営成績の推移 ①コア業務粗利益

- コア業務粗利益は、法人ソリューション・アセットマネジメントに係る収益の増加により役務取引等利益は増加したものの、資金利益の減少を主因に、前年同期比8億円減少の433億円
- 資金利益の減少（△16億円）については、HD連結では減益影響がない子会社からの受取配当金の減少（△24億円）が最大要因であり、その他の要因の合計では前年同期比8億円の増加

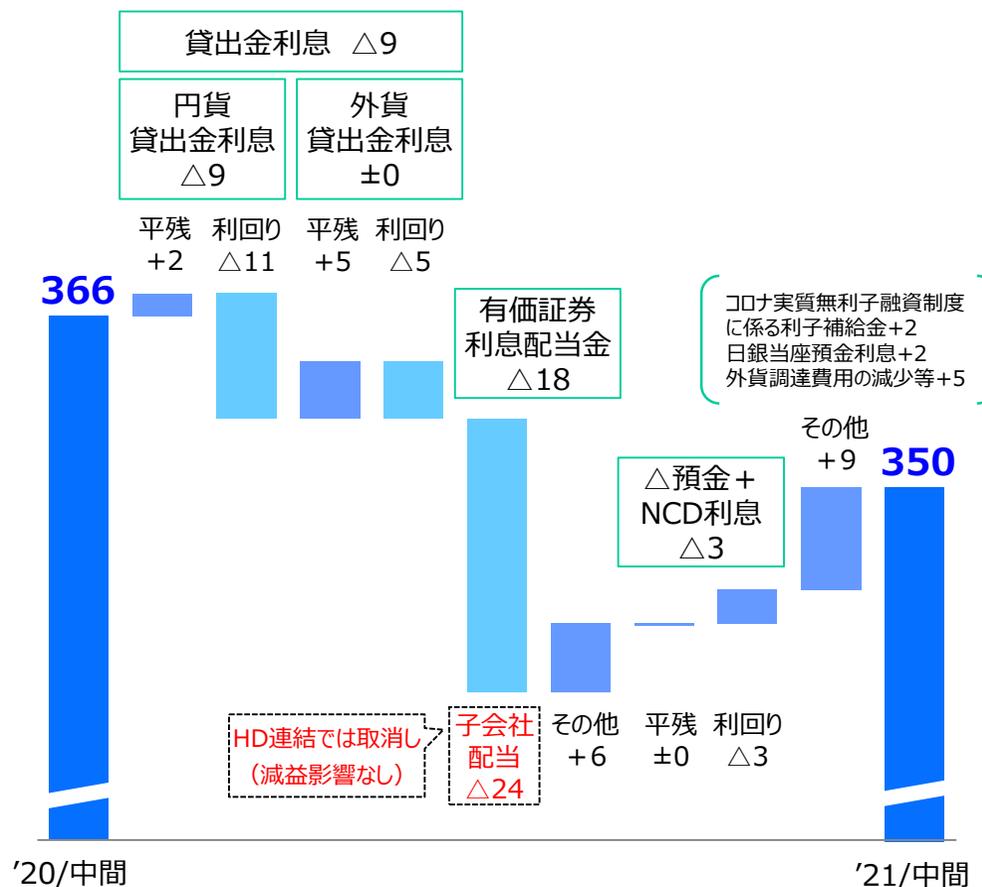
コア業務粗利益

(億円)



資金利益の増減要因

(億円)

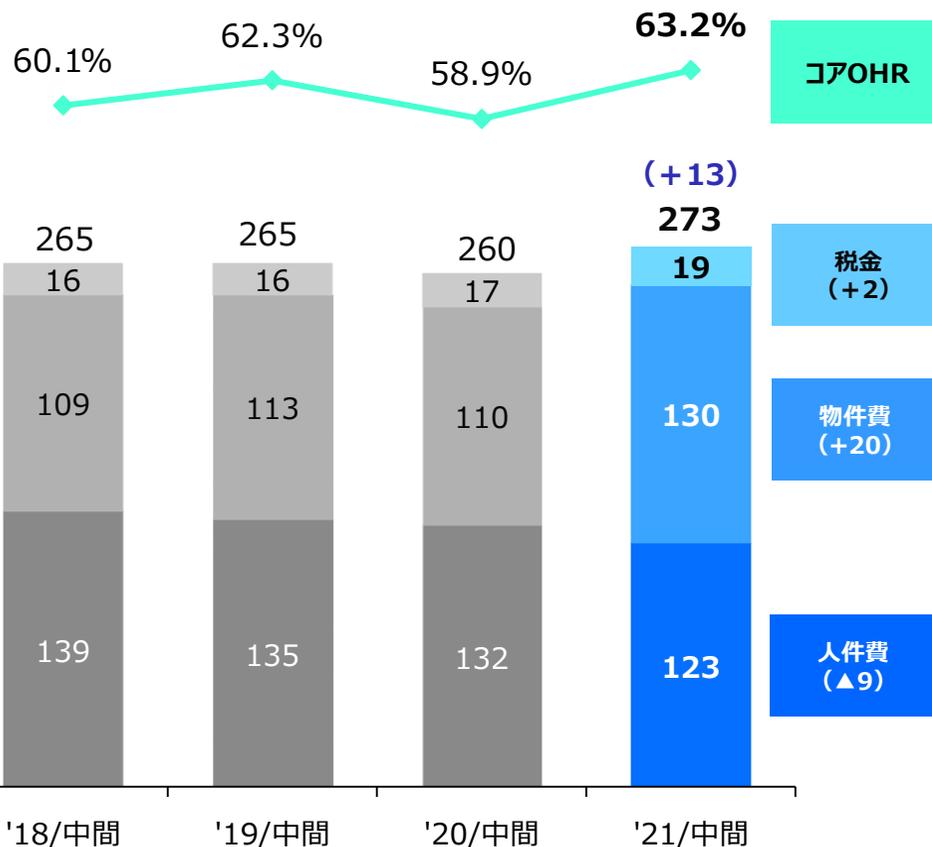


銀行単体の経営成績の推移 ②経費、コア業務純益、中間純利益

- 経費（除く臨時処理分）は、本社ビル関連経費（備品など、移転に伴う初期費用を含む）の増加による物件費の増加を主に、前年同期比13億円増加（コアOHRは前年同期比+4.3ポイントの63.2%）
- コア業務純益は前年同期比22億円減益、中間純利益は前年同期比25億円減益ながら、子会社からの受取配当金の減少影響（HD連結では減益影響なし）除きでは、実質前年同期並みの水準を確保

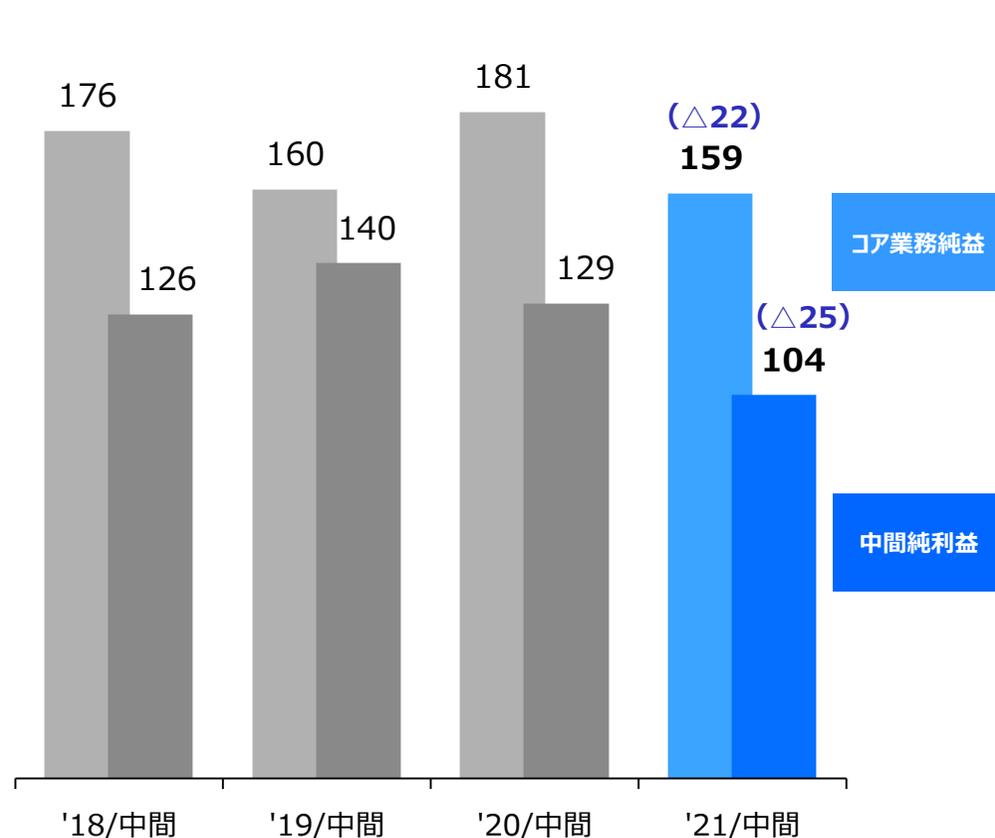
経費（除く臨時処理分）・コアOHR

$$\text{コアOHR} = \frac{\text{経費}}{\text{コア業務粗利益}} \quad (\text{億円})$$



コア業務純益／中間純利益

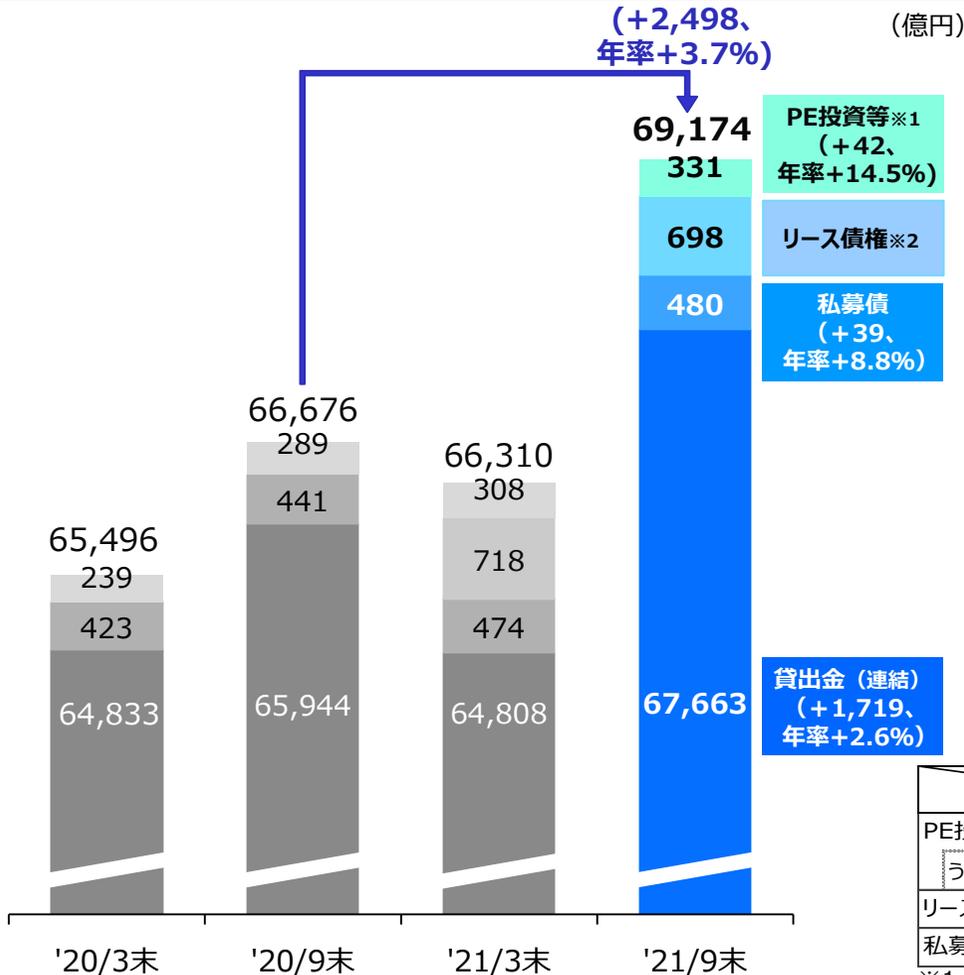
(億円)



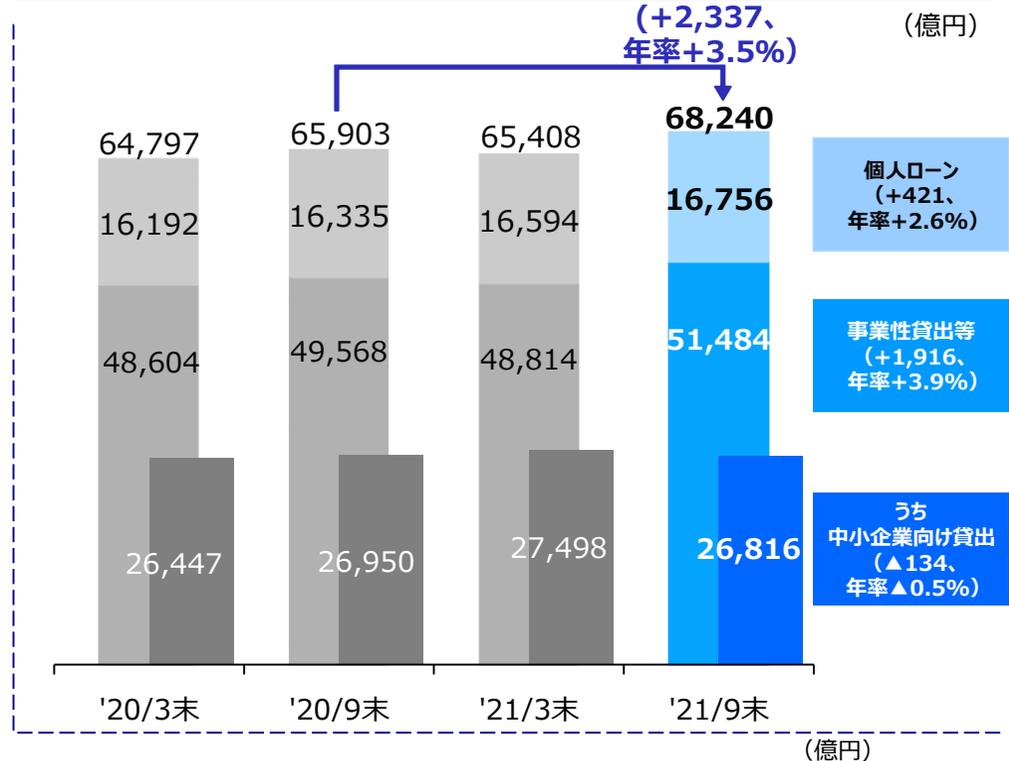
グループ総与信（貸出金＋私募債＋リース＋プライベートエクイティ投資等）

- 地元のお取引先に対する信用リスクテイクを最優先する中、貸出・リースに加えて、私募債の受託、私募REIT出資を含めたプライベートエクイティ投資（資本性資金の供給）についても、グループ一体となって積極的に対応
- グループ総与信は、2020/9末比2,498億円増加の6兆9,174億円
- 銀行単体の貸出金残高のうち中小企業向け貸出は2020/9末対比で微減

【HD連結】グループ総与信



【銀行単体】貸出金残高



	'20/3末	'20/9末	'21/3末	'21/9末	20/9末比
PE投資(出資約束額)等 ※1	239	289	308	331	42
うち出資残高	96	103	131	147	44
リース債権 ※2	-	-	718	698	698
私募債	423	441	474	480	39

※1. PE投資等には、私募REIT出資を含んでいます。

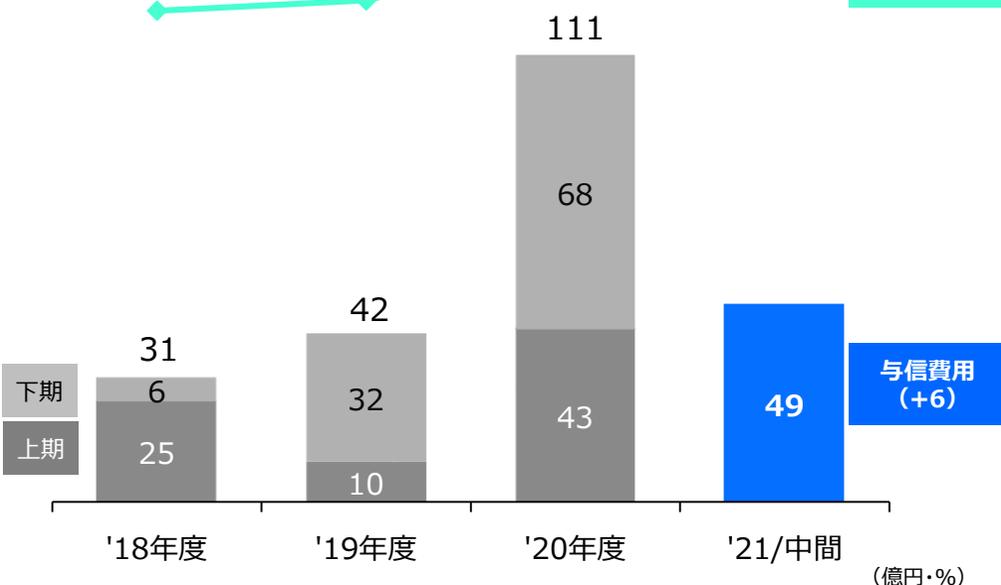
※2. 2021年3月1日付で完全子会社化したひろぎんリースのリース債権を計上しています。

- 銀行単体の与信費用は、大口個社要因に加え、一部のお取引先について予防的に引当を積み増したことから、前年同期比6億円増加の49億円（年換算の与信費用比率は0.14%）
- 金融再生法開示債権額、不良債権比率とも、2021/3末比で増加・上昇したものの、低い水準を維持

与信費用・与信費用比率

$$\text{与信費用比率} = \frac{\text{与信費用}(\text{※})}{\text{貸出金残高}} \quad (\text{億円})$$

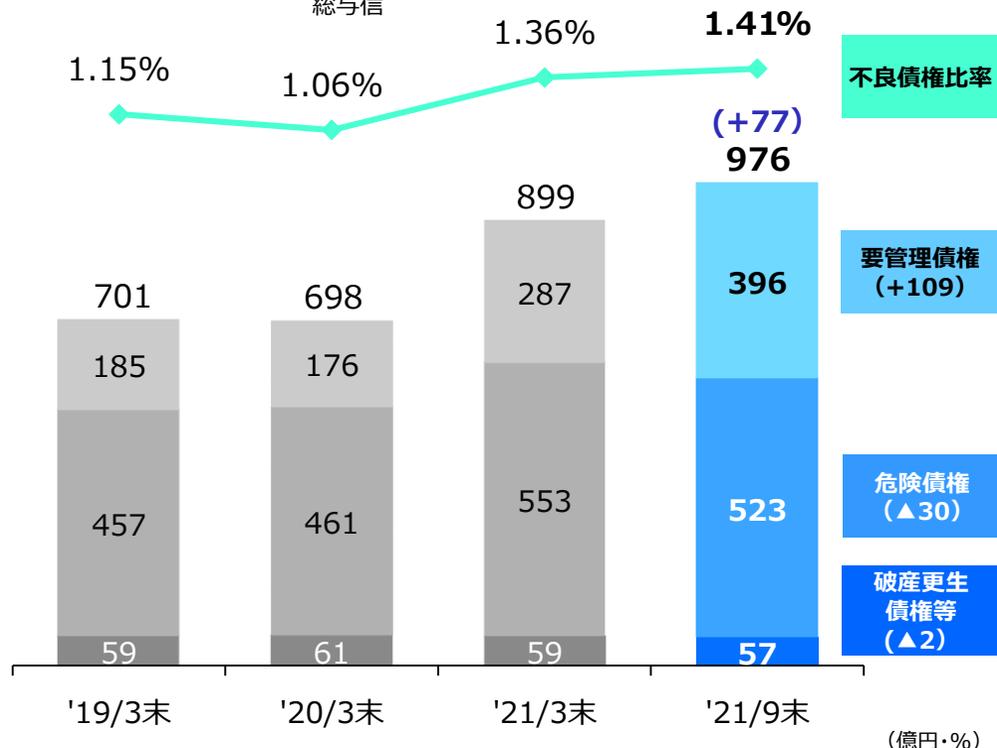
※ '21/中間は、年換算（365/183）にて算出



	'08年度	'09年度	'10年度	'11年度	...	'18年度	'19年度	'20年度	'21/中間
与信費用	232	146	119	91	...	31	42	111	49
与信費用比率	0.53	0.33	0.27	0.20	...	0.05	0.07	0.17	0.14

金融再生法開示債権額・不良債権比率

$$\text{不良債権比率} = \frac{\text{金融再生法開示債権額}}{\text{総与信}} \quad (\text{億円})$$



	'09/3末	'10/3末	'11/3末	'12/3末	...	'19/3末	'20/3末	'21/3末	'21/9末
金融再生法開示債権額	1,284	1,119	1,158	1,052	...	701	698	899	976
不良債権比率	2.82	2.50	2.60	2.31	...	1.15	1.06	1.36	1.41

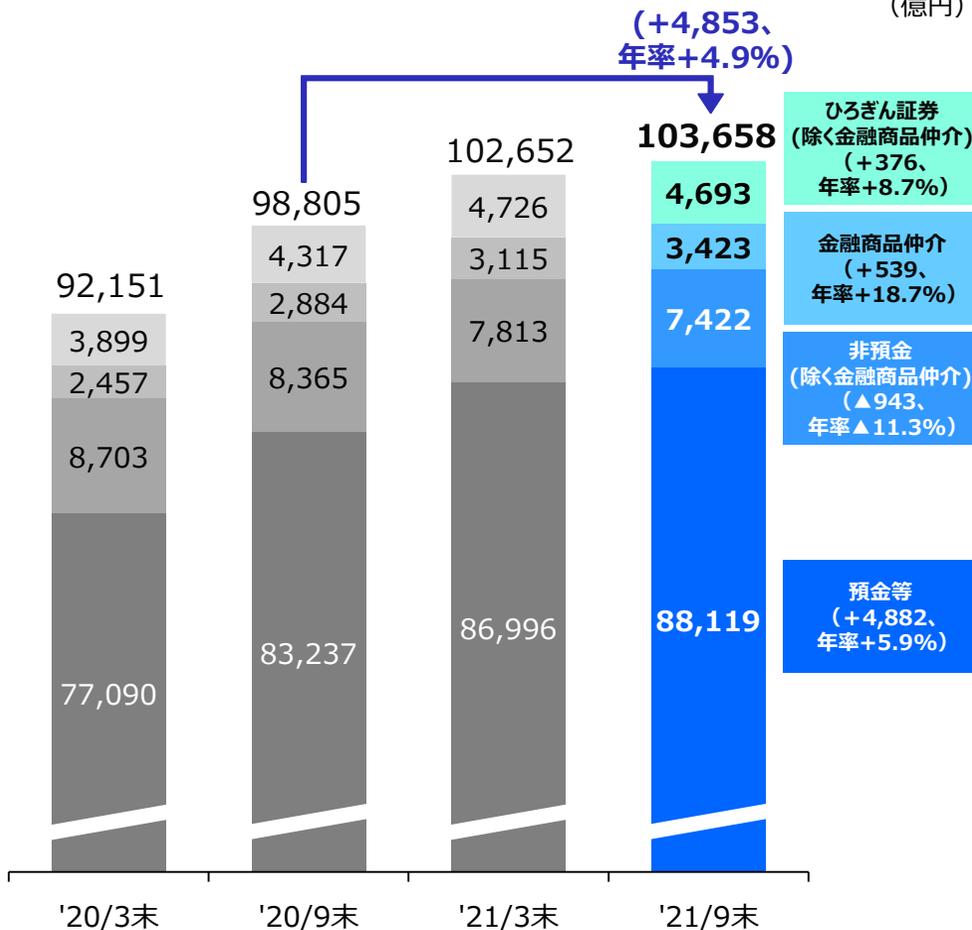
(注) 金融再生法開示債権額は、単位未満を四捨五入して表示しています。

総預り資産(広島銀行+ひろぎん証券)、預金等(預金+譲渡性預金)

- 総預り資産（広島銀行+ひろぎん証券）は、預金等の増加に加え、“銀証連携の強化”によるひろぎん証券・金融商品仲介の預り資産の増加を主因に、2020/9末比4,853億円増加の10兆3,658億円
- 銀行単体の預金等残高は、個人預金、法人預金、公金・金融預金とも、2020/9末比で大幅に増加

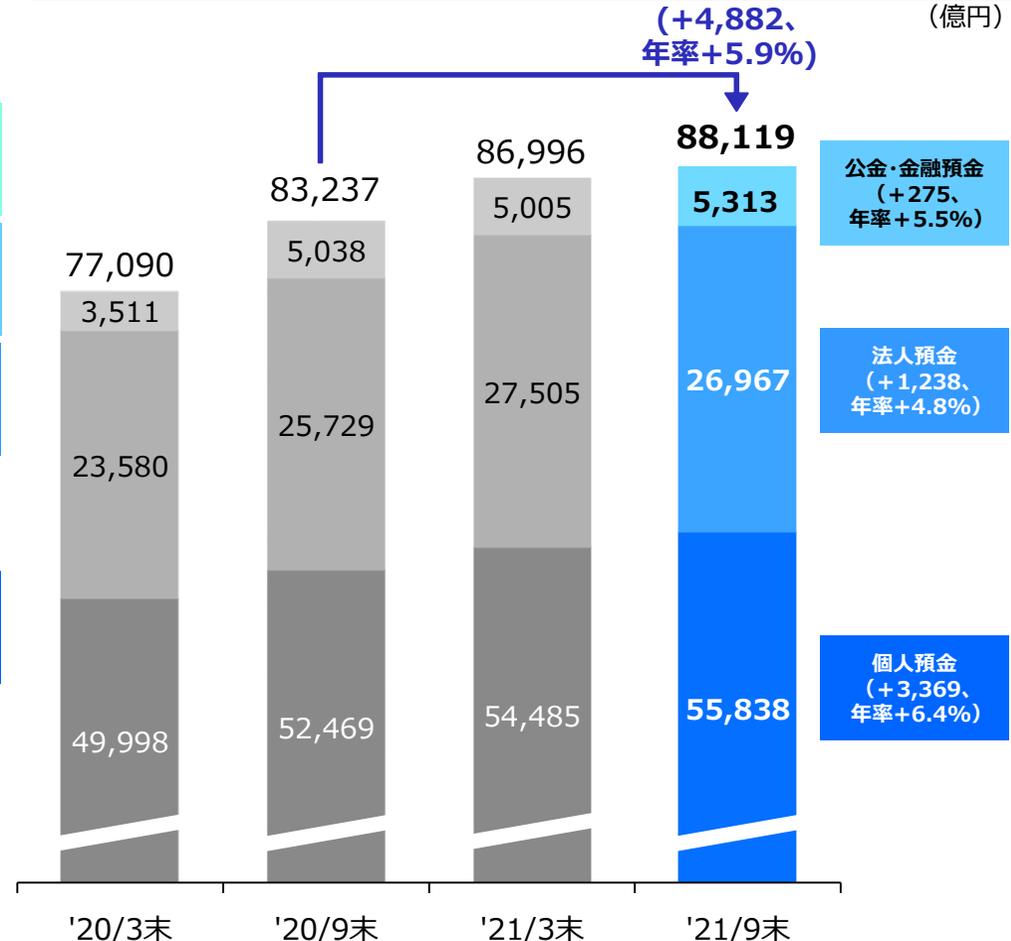
【HD連結】 総預り資産(広島銀行+ひろぎん証券)

(億円)



【銀行単体】 預金等 (預金+譲渡性預金) 残高

(億円)



(注) 1. ひろぎん証券の残高は、時価ベースです。
2. 「ひろぎんアプリ」を通じた金融商品仲介（楽天証券・SBI証券）は含んでおりません。

- 通期の業績予想について、年初予想から**上方修正**（HD連結当期純利益:220億円 ⇒ 修正予想235億円）
- 配当予想については、1株当たり年間配当金24円を据え置き
- なお、中間配当は年初予想どおり1株当たり12円実施（2021年11月8日開催の取締役会で決議済み）

2021年度の業績予想

(億円)

	中間期実績	2021年度業績予想	前年比	年初公表比
経常利益	167	335	25	20
親会社株主に帰属する当期純利益	111	235	20	15

(参考) 広島銀行の2021年度の個別業績予想

(億円)

	中間期実績	2021年度業績予想	前年比	年初公表比
資金利益	350	690	△12	15
非資金利益	82	170	7	-
コア業務粗利益	433	860	△5	15
経費(△)	273	545	12	△5
コア業務純益	159	315	△16	20
経常利益	149	295	△15	10
当期純利益	104	215	△8	10
与信費用(△)	49	95	△16	10

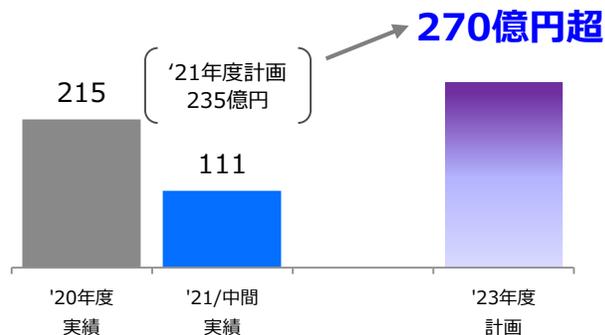
2021年度の配当予想

1株当たり年間配当金は24円

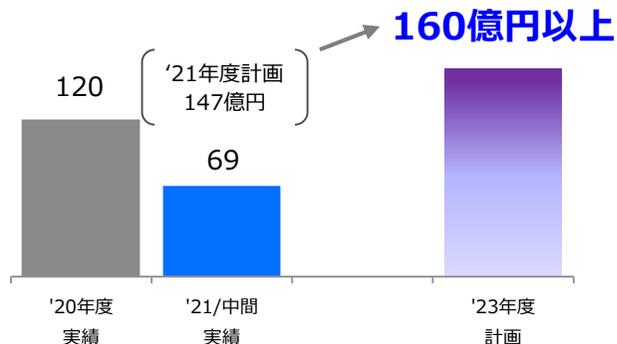
(参考) 配当目安テーブル

親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり配当金額			連結配当性向
	①安定配当	②業績連動配当	①+②	
330億円超～		18円	36円	～34.1%未満
300億円超～330億円以下		15円	33円	31.2%以上～34.4%未満
270億円超～300億円以下		12円	30円	31.2%以上～34.7%未満
240億円超～270億円以下	18円	9円	27円	31.2%以上～35.1%未満
210億円超～240億円以下		6円	24円	31.2%以上～35.7%未満
180億円超～210億円以下		3円	21円	31.2%以上～36.4%未満
～180億円以下		0円	18円	31.2%以上～

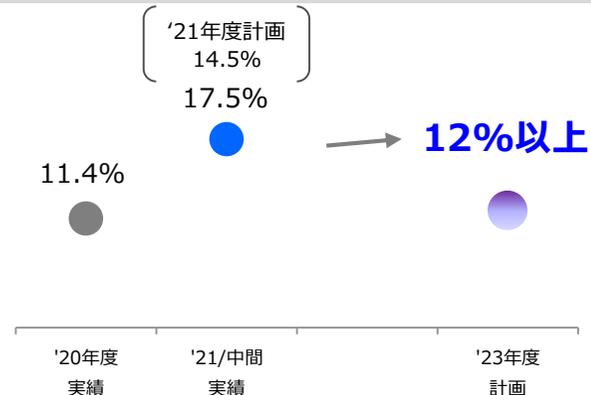
親会社株主に帰属する当期純利益



法人・個人のお客さまに対するコンサルティング業務に係る収益※1およびグループ会社当期純利益※2の合計



グループ会社連結寄与度※3

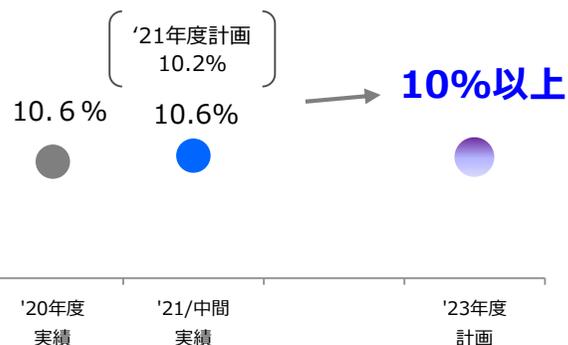


※1 法人・個人のお客さまに対するコンサルティング業務に係る収益 = 法人ソリューション、アセットマネジメントおよびエクイティビジネスに係る収益の合計

※2 グループ会社当期純利益 = 銀行を除く連結子会社の当期（中間）純利益に出資比率を乗じた額の合計

※3 グループ会社連結寄与度 = $\frac{\text{グループ会社当期（中間）純利益}(\text{※2})}{\text{親会社株主に帰属する当期（中間）純利益}}$

連結自己資本比率



連結ROE

